

緑の相談所だより

No. 104

編集・発行

財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑の相談所

発行日
平成 19年 2月 1日

講習会のご案内 2月・3月開催

「果樹の剪定」

とき 平成 19年 2月 25日(日)

Pm 1:30 ~ 3:30

講師 緑の相談所 相談員 佐藤 吉光

定員 50名

「春から夏に向けてのランの育て方」

とき 平成 19年 3月 4日(日)

Pm 1:30 ~ 3:30

講師 旭川蘭友会 笠原 幸三 さん

定員 50名

「春の園芸作業」

とき 平成 19年 3月 18日(日)

Pm 1:30 ~ 3:30

講師 緑の相談所 相談員 芝山 一雄

定員 50名

展示会のご案内 [写真展]

「神楽岡公園の四季」

とき 平成 19年 2月 1日(日) ~ 28日(水)

「温室の植物達」

とき 平成 19年 3月 2日(金) ~ 18日(日)

作品提供 道新文化教室「渡辺歌沃デジカ教室」のみなさん

・観覧時間はどちらも Am 9:00 ~ Pm 5:00. 観覧は無料です。

ちゃりんご〜ゆ〜

難読植物漢字クイズ

~この漢字何て読みますか??~

植物の漢字クイズを作りました。

ぜひチャレンジしてみてください。

問題

楓	椶	翌	檜		
加加阿	忍	冬	蘇	鉄	
辛	夷	春	榆	唐	檜
椏	黄	櫨	楠		

ヒント

今回は全部「木」の名前です。

(回答は裏面に記載してあります。)

緑の相談所のQ&A

Q 過去の「相談所だより」って見られないの?

A 相談所だよりはインターネットでバックナンバーを見ることが出来ます。どうぞ、ご覧下さい。

URL <http://www.asahikawa-park.or.jp/sisetu/soudan/soudan.htm> (「あさひかわの公園」サイト内)

お申込み・お問合せ・ご相談 など

旭川市緑の相談所

☎ (0166)65-5553 まで。

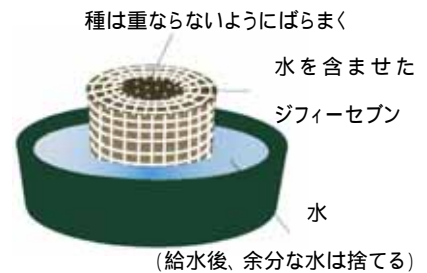
どうぞお気軽にお尋ね下さい。

花の苗を育ててみよう！

四季咲きベコニア

種まき

発芽適温は高温で20～25℃、発芽日数は15日ほどかかります。種子は小さいので少量の小袋で十分で、ジフィーセブン（商品名）などにまくと容易です。タネはバラまきで、好光性種子なので覆土せず、水は底から吸わせます。直射日光を避け、温度を保ち窓辺に置いて管理します。



育苗

発芽したらレースのカーテン越しの光を当てて育て、本葉が2～3枚出てきたら6センチポットに植替えます。用土は赤玉土とピートモスが同量の配合土を使い、同じく窓辺で直射日光を避けて管理してください。植替え2週間後くらいから週に1回1,000倍程度の液肥を与えます。



苗は本葉2～3枚になったら植えつける。
深植えにならないように注意する。

その後の管理と定植

晩霜の心配がなくなる6月までは室内やフレーム内で育ててください。定植は西日が避けられる半日陰のところの方が生育旺盛です。弱酸性土を好むので石灰を施さないのも栽培のコツです。

病虫害も少なく栽培が容易な花ですのでぜひ挑戦してみてください。

栽培カレンダー

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
普通栽培				□	—	■	■	■	■	■	■	■
早まき栽培			□	□	—	■	■	■	■	■	■	■

□ 種まき — 育苗・生育 ■ 定植 ▨ 開花

展示室の植物たち

マンゴー

ウルシ科マンゴー(マンギフェラ)属

マレー半島を中心に、インド、スリランカ、フィリピン、パプア・ニューギニアなどに約40種分布しています。常緑で30～40mに達し、花は円錐花序に数百から数千の小さな花がつくが、雌しべが退化した不完全花が多く、結実率は0.1～0.02に過ぎないといわれています。インドでは紀元前2,000～3,000年頃から栽培されていたようで、仏典には緑陰樹として記され、「花は多いが実を結ぶのが少ない」例えに使われ、シャカがマンゴーの木の下で野宿したことから「神聖な樹」とされています。皆様ご存知のとおり、トロピカルフルーツとして最も好まれるおいしい果物で「果物の王様」と呼ばれています。

当温室の地植えのマンゴーは一昨年大豊作でしたので隔年の今年は期待が持てます。また、鉢植えの赤実の改良品種「太陽」（宮崎県等で栽培されている）は1月に花が咲いたので何個結実するか楽しみです。



北海道に春を告げる木

～ 白い花が美しい落葉中高木～

キタコブシ

モクレン科

コブシの名は「拳」のことで花の蕾の形が似ているという説と、実の形が握りこぶしのような説があります。

農村ではコブシの花を暦の代わりにしたそうです。地方によっては、この花が咲くを見て苗代を作ったり、種子をまいたりしました。いわば農作業の指標木です。キタコブシはコブシの北方型の変種の一つで全道に分布しています。旭川市でも早春に他の花に先がけて、清純な白いキタコブシが咲き出す頃は、まだ寒さも残っていて、春を告げる季節感を強く感じさせることから迎春花という名もあります。まだ木の葉も出ない頃に咲き、大きく香りの強い白い花は特に鮮やかに目立ちます。キタコブシは桜よりも早く咲き、幹は白っぽい灰色で、白い花が咲くと木全体が白く見え、遠くから見てもよくわかりますが、山の残雪と見間違ふこともあります。花の寿命は10日位で、満開の花は人目をひきつけとても見事です。



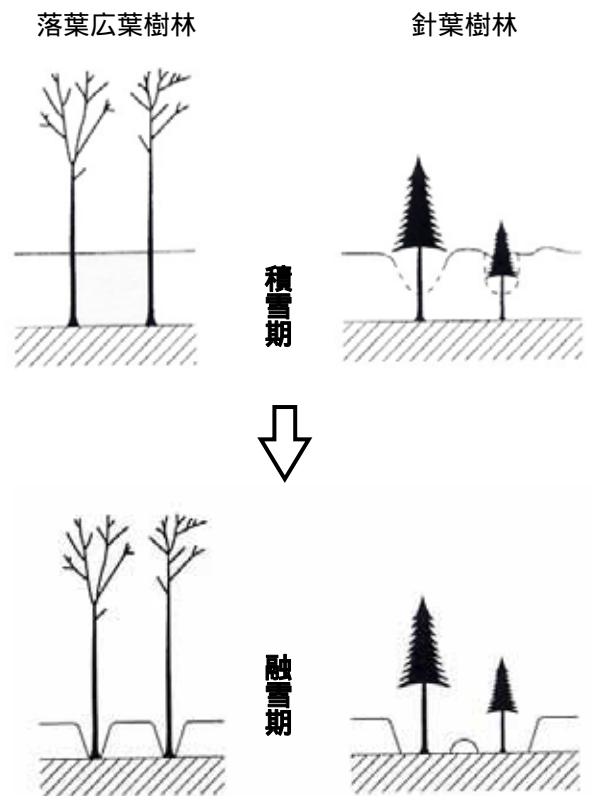
春になると木の周りから雪が融けてくるわけ

雪の積もり方は、落葉広葉樹は冬期に葉がないため、林の中はほぼ一様に雪が積もり、幹周辺も雪に覆われてきます。

針葉樹林は冬期でも枝や葉が密生しているため、枝の下になる幹の周辺の積雪は極端に少なくなり、穴状の隙間ができます。

融雪が始まる3月中旬以降になると、雪面は太陽光の反射率が大きく、エネルギーの吸収が少ないのに対し、落葉広葉樹の幹や針葉樹の枝や葉は、反射率が小さいため、樹木は太陽のエネルギーをよく吸収し、温度が上がり、幹などの周囲の雪が融けやすくなります。

落葉樹林では、このような反射率の差により融雪期になって初めて幹の周辺に穴が出来ます。針葉樹林では融雪期に入る前から、枝の下にできていた穴洞の周囲の雪が反射率の差により融け始め、融雪期はさらに拡大することになります。



森林内の雪の積もり方・溶け方 模式図

2月の園芸作業

1 鉢花類

シクラメンがしおれ傷んだ花茎、葉柄はまめに摘み取り、日の当たる15℃以下の涼しい場所に置きましょう。

ポインセチアは赤色等の花包はまだ着いて十分楽しめますので低温と乾燥に注意しましょう。

エラチオールペゴニアは開花中です。日当たり良く18℃以上を保ち、随時花柄摘みをして開花を補助しましょう。

カランコエは花が終わり休止期に入りますので、花柄摘みをして、5~10℃で管理し水やりは控えましょう。

日照が強くなり成長が目立ってきます。開花の続くプリムラ類、サイネリア、シクラメン、カルセオラリア等は1000倍の液肥を週1回以上、固形肥料も月1回与えましょう。

乾燥させ休眠していたアマリリス、球根ペゴニア等は植替え時期です。鉢から抜き取って古い土を落とし古根を処分して新しい用土(赤玉土4・腐葉土4・火山礫2)に、アマリリスは球根の頭は3分の1程表面に出る浅植えにします。

2 観葉植物類

ゴールドクレストは葉枯れを起こしやすいため高温と乾燥した場所は避け、葉水をまめにいきましょう。

保温に努めて最低温度に注意し、水やりは鉢土が乾いたら暖かい日の午前中鉢底からしみでるほど与えます。肥料は施しません。

3 洋ラン類

シンビジウムの花は長持ちしますが3週間ぐらい楽しんだら切花にし、新芽の生長にウエートを移し、新芽は1バルブあたり1個の芽にします。

デンドロビウムの花は1か月ほど楽しめますが、咲き終わった花柄は花茎の付け根で切り、直立している太いバルブは切らないで残しておくこと。肥料は施さない。花芽が高芽になったのは温度の高い部屋に置き、水を過剰に与えたことが原因のひとつです。

カトレアの冬咲き種は開花の最盛期です。開花する時の状態は、いちおう生育活動を中止し、花茎だけ伸ばしてシーズから出蕾しやがて蕾が大きくなって咲きます。しかし、バルブに元気のなかった場合花芽は出ません。この時期は肥料を吸わないので与えません。

コショウランは花期が長く2~3か月咲き続けますが次の開花の為に根元から早めに切り取って(開花後50日位)切花で楽しむのがベストです。贈答用に作られた寄せ植えは3~4月頃には、一株ずつ素焼鉢に植替えます。

3月の園芸作業

1 鉢花類

ゼラニウム、ペゴニア、コリウス、サフィニア等室内に親株を保存してきたものは日に良く当て萌芽させましょう。新芽が出たら、バーミキュライト等の用土に葉を3~5枚程つけ2~3cmの深さに挿し木して新苗を育てましょう。

クジャクサボテンは日当たりのよい温かい場所に移して、水やりを開始し、肥料は与えません。

クンシランは花後も水やりを続け、徐々に薄い液肥を与えましょう。

シクラメンは開花後も水やりを続け、肥料も与え休眠させず生育させましょう。

アザレアは花後、花柄は摘み取り、5~8℃の低温の場所に置き、生長を抑えましょう。

花壇用草花の種まき時期です。ペゴニアは2月中~下旬、サルビアは3月上旬~中旬、ペチュニア、インパチェンス、アゲラタムは3月中旬、マリーゴールドは4月上旬がよいでしょう。

2 観葉植物・果樹類

部屋が乾燥するためカイガラムシやハダニが発生します。葉がベトベトしてきますので柔らかい布で拭き取りましょう。スプレーで霧吹きも有効です。

リンゴ、ナシ、サクラノボ、スモモ等の果樹の剪定時期です。目的は果実の着きを良くするばかりでなく、病害虫を防ぎ、樹高を低く抑え、老化した枝を若い枝に更新する等必要な作業です。なお、切口には病気を防ぐ為「傷口癒合剤」を塗ると良いでしょう。また、越冬した病害虫を防ぐ為剪定後「石灰硫黄合剤」を噴霧器で木全体に散布しましょう。(注休眠中芽の出る前に散布すること)

3 洋ラン類

植替えのシーズンです。まずは今月初旬~中旬にかけてシンビジウム属、デンドロビウム族(ノビル系)、カトレア秋咲き、パフィオペディム属と順に植替え、4月下旬まで終われば良いでしょう。なおコショウラン等の高温タイプは4月中旬~6月までに植替えを行うのが良いでしょう。

シンビジウムは新芽が成長期に入る直前の春に植替え、株分けを行いましょう。植替え用土は火山礫とパークのミック、鉢はプラスチックの長鉢が良いでしょう。

カトレアは新芽が膨らんでくるこの時期に、新しく伸びる芽が生長し根元から出る根が鉢に入るスペースがない状態の鉢、水苔が古くなり弾力を失った(ぼろぼろになる)場合植替えます。水苔は水を入れたポリ袋に密封して入れ絞っても水の出ない湿った状態のものを使いましょう。